

森林セラピー通信
森のたより
(一社)飯南町観光協会
☎76-9050

普通救命講習を実施
本格的なグリ
ーンシーズン
前に、町内ガイド
団体を対象に「普
通救命講習」を
実施しました。
飯南消防署の
職員を講師に迎
え、コロナ後の普
通救命の手順の
おさらいです。驚いたのは、現在は人工
呼吸を省略して良いということ。それ
よりも胸骨圧迫を優先し、近くにある
場合はAED(自動体外式除細動器)を
積極的に利用するというものでした。
通報から救急車が到着するまでの時
間についても教わりました。全国平均
は9分、雲南圏域では12分、そして森林
セラピーロードがある飯南町ふるさと
の森までは、最低でも20分はかかるこ
とのこと。つまり、救急車の到着まで最低
でも20分間は胸骨圧迫と意識の確認を



繰り返すこととなります。
実際に胸骨圧迫を行ってみると、
中々に重労働ですが、それが分かるこ
とが大事だと思っています。
実際の事故に遭遇した際に、焦らず
適切な対応を行う上でも、平時の備え
が重要だと改めて感じました。

セラピーロード新エリア
今回は県有林のきこ園近くに新し
くハンモック体験もできる新エリアを
増設。地ごしらえを行っていたいた
上に、真新しいウッドチップをたつぷ
りと敷き詰め、フカフカのロードが完
成！エリアには、ベンチと椅子も常設
してあるので休憩にも最適。参加者14
人でひたすらチップを運ぶ運ぶ。小春
日和の森で清々しい汗をかきました。
もちろん自由に利用していただける
のでぜひ足を運んでみてください。



楽しいはばいばい
図書館探検 飯南町立図書館

第66回こどもの読書週間
期間 4月23日(火)～5月12日(日)
標語 「ひらいてワクワクめくってドキドキ」



●オリジナル「このぼり」展示
飯南高校美術クラブさんと参
加者の子どもたちと一緒に、大き
な布にこのぼりを描きました。
5月いっぱい、中央図書館内に
飾っています。

●子ども向け雑誌リユース
保存期間が過ぎた子ども向け
雑誌を差し上げます。
※当館では雑誌の保存期間を2
年間としています。

「こどものとも」などの読みも
のがあります。ご希望の方はお早
めに。

※予約・取り置きはできません
期間 4月24日(水)～無くなり
次第終了
場所 中央図書館

●展示「しかけ絵本」
ワクワク楽しい「しかけ」いっば
いの絵本を、じっくりお楽しみみ
ください。

●野鳥講座
(頓原公民館とのコラボ企画)
日時 5月15日(水)10時
会場 交流センターとんぼら
講師 春日美知さん

●クイズ「このキャラだ〜れ?」
絵本に出てくるキャラクターの
シルエットクイズです。
いくつ答えられるか、チャレン
ジしてみてください。
※問題はカウンターにて配布し
ています。

●展示「しかけ絵本」
ワクワク楽しい「しかけ」いっば
いの絵本を、じっくりお楽しみみ
ください。

●野鳥講座
(頓原公民館とのコラボ企画)
日時 5月15日(水)10時
会場 交流センターとんぼら
講師 春日美知さん

短歌 頓原公民館短歌教室 三月詠草



夕餉時に妻と息災喜びつ岳とコップでまずは乾杯
すれ違うたびごと胸のときめきて視線そらした校舎は跡地
石川 隆

ちゃんと冬しなかったのに梅白し窓の向こうにちゃんとまた春
大野 順子

如月の石見銀山町角に木囲い自販機亡き義兄想う
奥田 博昭

忘れおり植えたことすら春の陽に金の輝き咲く墓道に
景山 牧栄

まだ寒い梅咲き桜のたより聞くころときめく春の足音
景山 稔

亡き夫の好物やくせさ話しつつ娘とお茶を飲む午后のひと時
片岡 千鳥

ふきのとう鶏卵大の姿して採るには哀れひとつきりにて
塩田美代子

冬を越す堀コタツ用の炭・たどん 春まだ遠しと軒下に運ぶ
千葉トミエ

雪もなく静かに春待つ里山よ心うるおす深き彩り
本間 啓美

山道に貼り付く落ち葉踏みつけて走るそばから春立ち上がる
烏田 勝信

今日の**人権標語**

令和5年度
「家族でつくる人権標語」優秀作品から

「イイネ!」より
本当の笑顔が
見たいよね

赤来中学校 1年 加瀬部 敬一朗さん
家族名 真莉さん

標語に込められた想いをみんなで
意識し、差別や偏見のない明るいま
ちづくりをめざしましょう。

すこやかに 3月届出分

新生児 届出人 地区
那須 莉愛 貴 宏長 谷
星野 袖希 悠 (頓原)

やすらかに 3月届出分

お名前 親族 地区
後長スミエ 様(89) 治角 井
戸田 文恵 様(91) 憲 文(奥畑)
倉橋 昭子 様(95) 宣 (野萱)
叶松 馨 様(95) 忍 (上赤名)
岩崎 保之 様(62) 達 也(赤名)
讃岐 達之 様(94) 森脇幸夫(都加賀)
深石 丸恵 様(93) 賢 一(奥畑)
坂根タマノ 様(98) 明 人(上赤名)

今日の表紙

「定住支援業務をアウトソーシング」
4月1日から「飯南町定住支援
センター」ごめたで飯南町」と
して業務を開始した「NPO法人
里山コミッション」職員の田中稔さ
ん。笑顔で移住者の相談に乗って
います。
本町は、移住・定住希望者から
の相談やニーズに対して、より柔
軟に対応するため、移住・定住支
援業務を、同法人へ外部委託しま
した。今後は同法人が中心となり
業務を推進します。



詳しくは
町ホームページ